

世界は今

県人リポート

255

ブラジルでは、サッカーのワールドカップ（W杯）を「コッパ・ド・ムンド」という。6月12日に開会式が当地、サンパ



千田曠曉さん（ちだ・ひるあき）1957年、16歳で家族と一緒にブラジル・サンパウロ市へ移住。60年から46年間クリニキング店を経営。ブラジル県人会で理事、書記などを経て7代目会長、県人会ニュースも担当する。同市在住、72歳。金ヶ崎町出身。

千田曠曉さん （金ヶ崎町出身） ブラジル

ウロ市で行われ、7月13日まで国内各地で熱戦が繰り広げられる。国際サッカー連盟（FIFA）は、各国の取材陣やサポーターら訪伯者数を約360万人と見込んでいる。

日本戦が行われる各地の日本人会は訪れるサポーターのため、受け入れ態勢を検討中だが、具体的な方策まで決定でき



サッカーW杯の開幕戦が行われるサンパウロ。今のところ現地は大きな盛り上がりはない（共同）

W杯準備遅れがち 国民性反映 今後加速か

段階にはなっていない。に「支援委員会」を発足 含めて活動することにし
サンパウロでも、日系5 させ、治安をはじめさま した。
団体が日本人訪問者向け さまざまな情報の提供などを わがブラジル県人会に



も、所有する会館への宿泊施設の提供依頼があったが、宿泊設備そのものがない。雑魚寝なども検討したが、管理人も不在で、安全性などの観点から協力は断念した。
岩手をはじめ日本から訪れ、現地で入場券を購入するつもりの人も多いが、既に当地でも困難になっている。せめてW杯開催中は街角などで、

ブラジル国民がサッカー、とりわけ自国チームが出る試合を、どんなふ

うに観戦、応援するかを していない。間に合わない 肌で感じていたきたた として、場所の変更が検 討された会場もあった が、最近になって間に合 うと確認された。

それ自体が大きな土産 話になることは間違いな い。「試合を見るのも楽 しいが、応援する観客を 見るのもすごく楽しい」 W杯もそれ流で、3月の カーニバルを思い切り楽しんだ後に、試合会場の 建設が急ピッチで進み、 もちろん日系人は日本 開会間際になって完成と チームが勝ち進むことな なるだろう。

念願しているが、その日 本とブラジルが対戦する ことになったら？。1 も何もない。テレビはも 世は日本を、日系人はブ っばらブラジル国内の試 合のことばかり。本当に 開催できるのかと疑って しまう。でも、この国の

国内で大変な移動距離の 試合が続く。その距離を 知るだけでも、ブラジル の広大さが分かると思 っ。各試合会場は、突発 事故や予算不足などで、 催、どうなるんだろう…。 （日曜日に掲載します）